

# 伊予市公学連携ガイドライン

ますます、いよし。



令和2年3月

未来づくり戦略室

- 
- 1 はじめに
  - 2 伊予市が目指す連携の姿
  - 3 連携の考え方
  - 4 連携担当の役割
  - 5 連携フロー図
  - 6 具体的な連携の進め方
  - 7 お問い合わせ



R1.9.13 国立大学法人愛媛大学との連携協力協定調印式

# 1 はじめに

---

少子高齢化による人口減少が進む中、地域課題や住民ニーズは複雑化、多様化し、行政の力だけでは、まちづくりの推進は難しくなっています。

これからは、大学等と幅広い連携やネットワークの構築により、地域特性を活かした政策を進めていくことが重要になります。

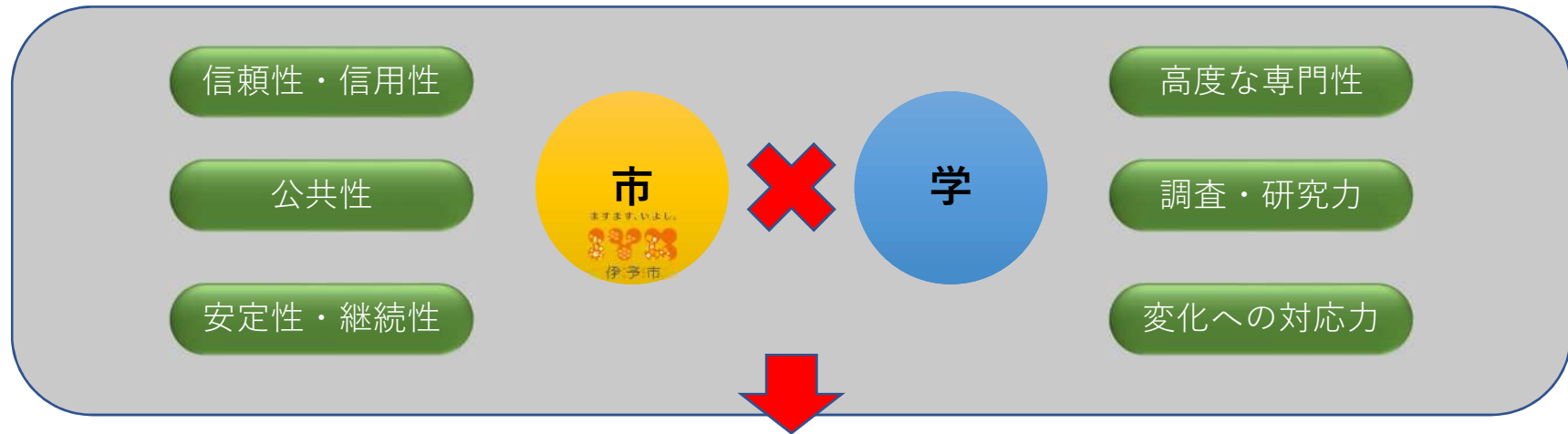
これまでも、各担当部署が連携事業を実施してきましたが、スムーズな連携、戦略的な運用を図るため、基本的な考え方やルールを示した「伊予市公学連携ガイドライン」を策定するものです。

本ガイドラインを踏まえ、関係強化を図り、連携事業を推進します。



R1.9.13 国立大学法人愛媛大学との連携協力協定調印式

## 2 伊予市が目指す連携の姿



両者の強みを生かし、“**地域課題の解決**”、“**新しい価値の創造**”を図ります。

### 伊予市

- 大学に集積する専門的な知識や情報、ノウハウの活用
- エビデンスに基づく政策立案
- 若い人材の活用、地域の活性化
- ※単なる「人員確保」「ボランティア要請」はNG

両者にメリッ  
ットの  
ある活動  
を  
実践

### 大学等

- 教育・研究活動へのフィードバック
- 人材育成
- 公的活動を通じた社会的価値の向上
- ※単なる「予算の確保」の依頼はNG

## 3 連携の考え方

---

### (1) 連携の原則

#### ①パートナーシップの原則

提案の実現を図るため、対等なパートナーとして、信頼関係の構築に努めます。

#### ②納得性の原則

お互いのメリット（得るもの）、デメリット（負担するもの）を精査し、両者にとって有益かつ納得のできる連携を図ります。

#### ③公平性の原則

特定の関係構築に留まらず、広く連携提案の機会を確保するとともに、提案に至らない場合においても良好な関係構築を図ります。

### (2) 連携の視点

#### ①市民サービスの視点

連携により、市民サービスの向上が図られる取組を目指します。

#### ②地域社会の視点

直接的な効果のみならず、目に見えない効果にも着目し、地域社会の元気創造を図ります。

#### ③相互成長の視点

両者の知識・意識が向上できるよう、互恵的な事業構築を図ります。

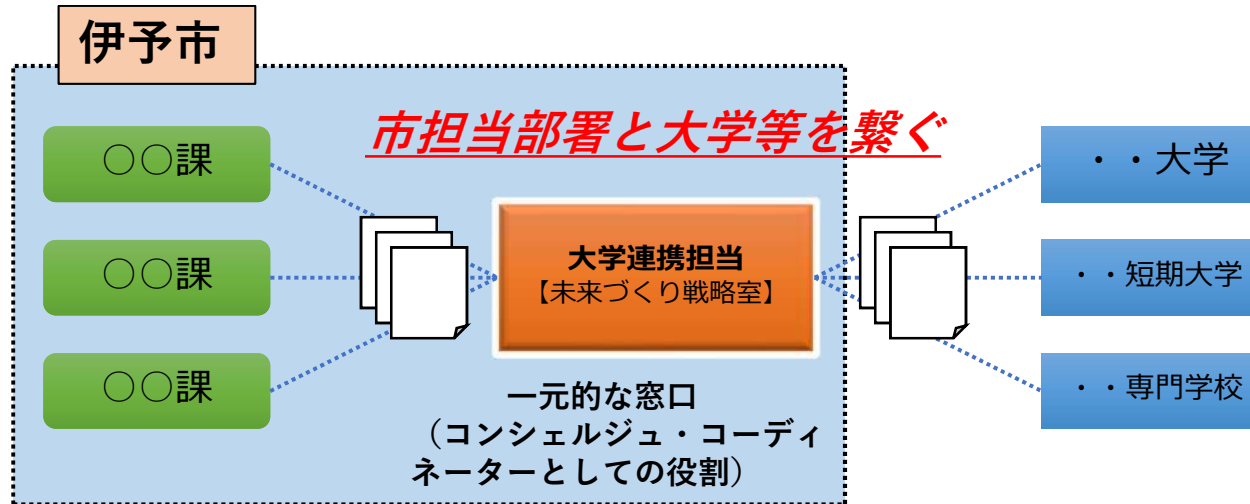
#### ④PDCAサイクルの視点

事業の目的や効果を明らかにし、事業の見直しを含めた進捗管理を行います。

#### ⑤財政の視点

費用対効果を重視し、取組を推進します。

## 4 連携担当の役割



愛媛大学生との連携ワークショップ

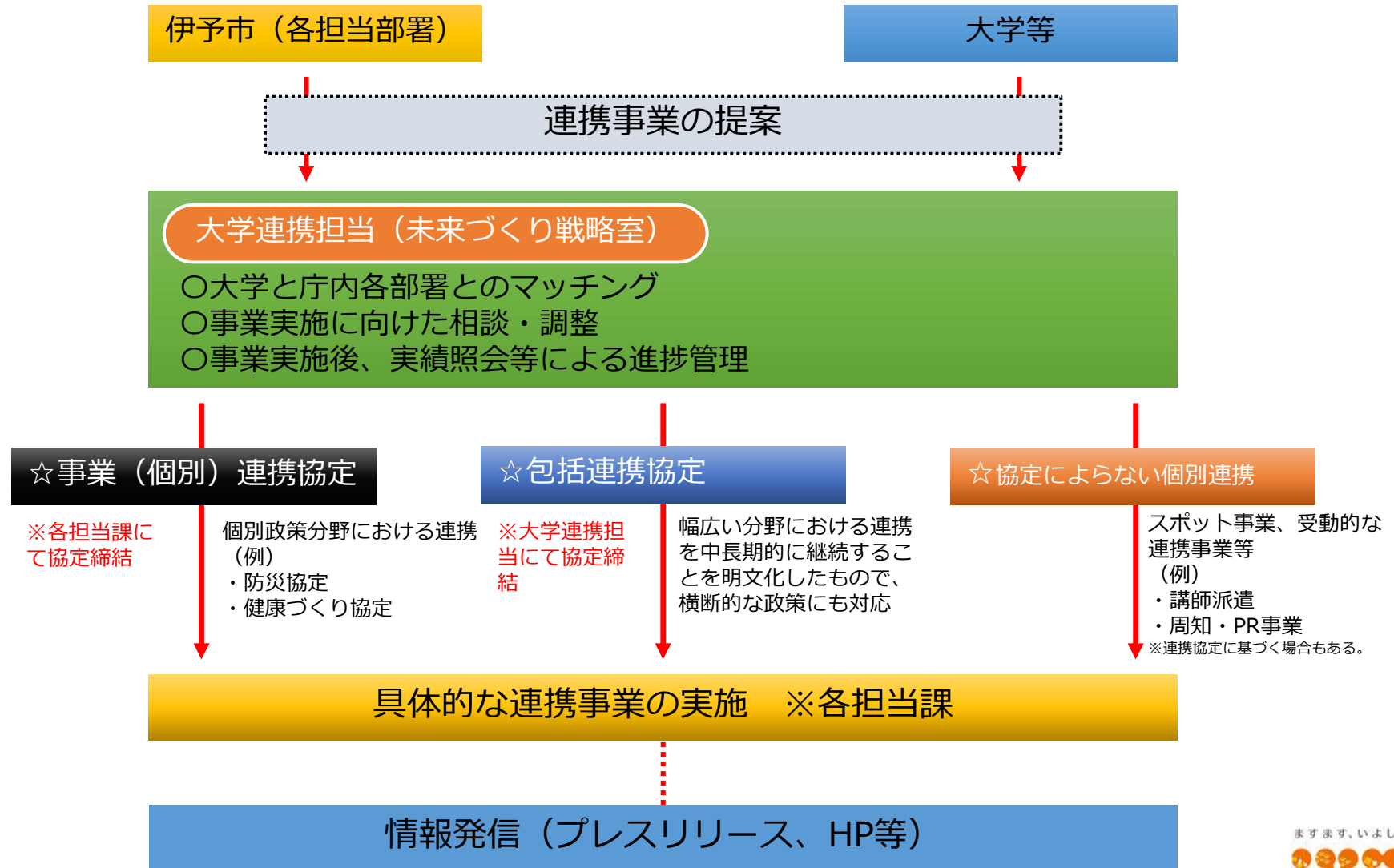
### －大学連携担当の役割－

両者の提案実現に向け、関係機関等と相談・調整を行うコンシェルジュ・コーディネーターとしての役割

☆一元的な窓口を置くことによって、両者の提案を確実に繋ぎ、スムーズかつ適正に連携事業を進めます。

☆確実な事業推進を図るため、進捗管理（事業評価）を行い、また、定期的な連絡会（事務局等）の開催により、両者の関係維持・強化に努めます。

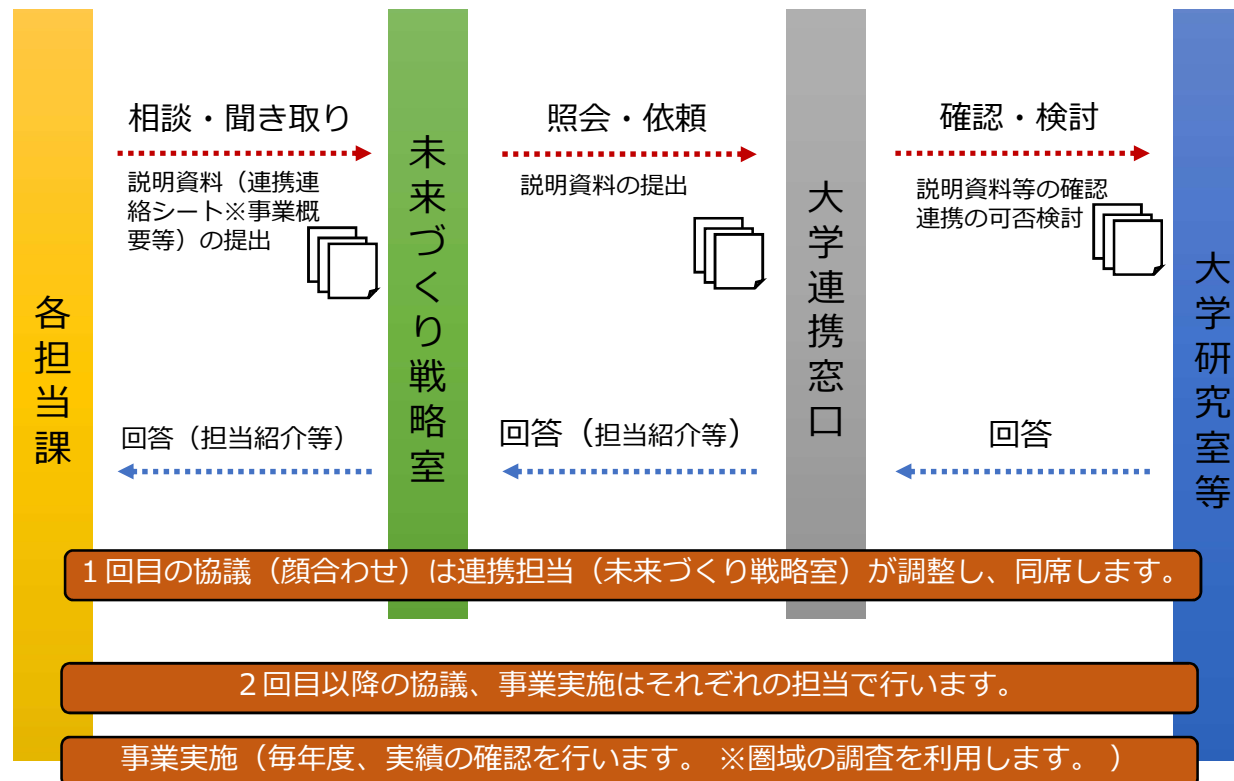
## 5 連携フロー



## 6-1 具体的な連携の進め方

パターン① 大学と連携した事業を実施したいが（大学に協力を求めたいが）、どこに相談していいかわからない場合

- 大学連携担当（未来づくり戦略室）へ相談（連携連絡シートを提出）してください。大学へ照会します。（担当教授の紹介等）※必要に応じて大学側へ直接説明を行っていただきます。
- 事業内容について大学で検討してもらいます。その結果を各担当課へお知らせします。
  - その後、大学の担当者と協議を行い、事業を実施します。なお、1回目の協議（顔合わせ）には、連携担当（未来づくり戦略室）も同席し、協議の進行を担当します。

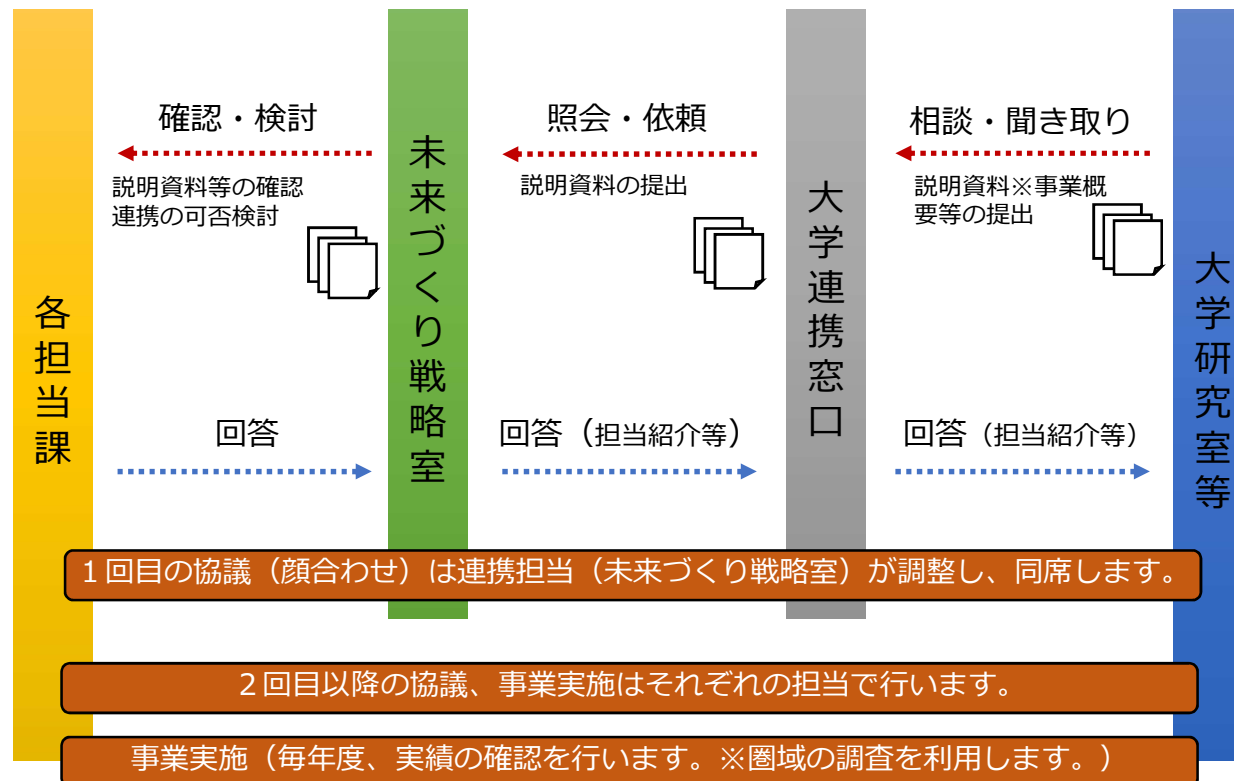




## 6-2 具体的な連携の進め方

### パターン② （大学から）市へ連携事業の提案（事業協力依頼）があった場合

- 大学連携担当（未来づくり戦略室）が、窓口として相談を受け付けます。
- 提案内容に応じた市担当部署へ提案事業の検討を依頼します。
- 担当部署にて検討した結果を大学連携担当（デスク）が大学側へ回答します。
- その後は、直接、市の担当者で連携事業について具体的な協議を行っていただきます。



## 6-3 具体的な連携の進め方

パターン③ 既に大学と連携しているものについては？（個別に依頼できる担当教授を知っている場合は？）又は、直接、大学から依頼を受けた場合は？

→ 既存ルートにて（個々に）、依頼（事業の実施）して結構です。これまでの関係性を重視してください。今後、大学側との調整により、一定のルートをお示しする場合があります。

※大学から直接依頼を受けた場合で、担当業務でない依頼については、連携担当までご相談ください。

→ 連携事業の実態把握（実績調査※圏域の調査を利用します。）にはご協力ください。



松山大学  
iProject! フィールドワーク  
（協力：マルトモ（株））



聖カタリナ大学祭  
シティプロモーションアンケート

### 連携提案連絡シートについて

大学等連携事業提案連絡シート

氏名	電話番号	住所	日
連携提案者			
事業概要			
大学等に連携するところ			
連携希望の学部・学科			
連携希望の専攻（学内課）			
備考			

新規で大学等と連携事業の協議を進めるに当たっては、各担当課にて連携提案連絡シートを作成し、未来づくり戦略室（連携担当）まで提出してください。※必要に応じて、補足資料を添付してください。

シートを用い、大学等と協議の調整を行います。

なお、個別に依頼ができる場合は、この限りではありません。

提案は、随時、受け付けています。

まずは、連携担当までご相談ください。

ますます、いよし。



伊予市

## 7 お問い合わせ

---

まずは、相談から。お気軽にお問い合わせください！！

### 【担当】

伊予市未来づくり戦略室内 大学連携担当  
(内線1311・1312)

〒799-3193

伊予市米湊820番地 庁舎3階

TEL 089-909-6364 (ダイヤルイン)

E-mail [miraidukuri@city.iyo.lg.jp](mailto:miraidukuri@city.iyo.lg.jp)

---

ますます、いよし。



伊予市